

東京都シニア秋季水泳競技会 追加要項

1 競技について

- (1) 本競技会は、2024年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は、予選8レーン、決勝8レーンで、スケジュールどおりに行う。
- (3) 決勝は、予選の結果上位8名が出場できる。なお、棄権者が出た場合は、次点上位より順次出場権を与える。
- (4) 決勝進出において、同記録で定員を超えた場合は、スイムオフを行う。スイムオフは、予選のランキング発表後15分以内にリゾリューションデスクにて該当選手または所属責任者の立会いのもと実施時刻を決定する。なお、15分以内に該当選手または所属責任者が現れない場合、スイムオフ出場を棄権するものとみなす。スイムオフを棄権した選手は、決勝進出の補欠には該当しない。
- (5) 予選出場者数が8名（チーム）以下の場合でも予選競技を行う。
- (6) 招集は競技開始20分前から行う。本人確認のために、招集所にはADカードを持参すること。招集所受付で水着の確認を行う。
- (7) 予選を棄権する場合は、実施当日の9時00分までにリゾリューションデスクに棄権用紙を提出すること。指定時間までに棄権用紙の提出がない場合は、1種目あたり棄権料3,000円を徴収する。
- (8) 決勝の棄権はできない。やむなく棄権する場合は、該当予選競技終了後30分以内にリゾリューションデスクに1種目につき棄権料3,000円を添えて棄権用紙を提出すること。指定時間までに棄権用紙を提出しなかった場合は無断棄権とみなす。なお、決勝競技の棄権は審判長の承認を必須とする。
- (9) すべての競技において無断で棄権した場合は、棄権料とは別に1種目につき3,000円の罰金を徴収する。
- (10) 棄権料・罰金に関して、当該選手が所属する団体は連帯してその責務を負う。
- (11) 決勝以外の競技のスタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水する。50m種目、背泳ぎおよび各種目最終組は、完泳後速やかに自レーンより退水すること。決勝は横退水とする。ただし、競技の進行状況によって退水方法を変更する場合がある。
- (12) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自で行い、確実に固定されていることを確かめること。背泳ぎにおいてバックストロークレッジを使用しない場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。
- (13) ゴールタッチはタッチプレートの有効面に確実にタッチすること。
- (14) 予選は組のみの紹介、決勝は選手紹介を行う。
- (15) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。
- (16) 本大会はADコントロールを行うので、常にADカードを携帯すること。

2 リレーオーダーについて

- (1) リレーオーダーは、以下の指定時刻までにリゾリューションデスクに提出すること。
(フリーリレー・メドレーリレー共通)
予選 9:30
決勝 14:00
- (2) リレーオーダー用紙は、事前にホームページからダウンロードして持参すること。

3 ADカードについて

- (1) ADカードは各団体にてホームページよりダウンロードして承認印を押印の上、出場選手および引率者に配布すること。（A4サイズでプリントして4分割する。プリントはモノクロでも可）
- (2) 選手ADは大会期間中選手1名につき1枚とし、必ず記名すること。

- (3) チームスタッフADは1団体1枚の基本ADに加え、個人種目出場選手5名につき1枚追加できる。ただし、基本ADと合わせて合計5枚を上限とする。
- (4) チームスタッフADは団体スタッフに限り使用できる。選手の家族や友人などの使用は禁止する。
- (5) ADカードは記名されている選手またはチームスタッフ専用とし他者への流用は認めない。
- (6) 会場内では常時ADカードを携帯すること。
- (7) ADカードを収納するケースは各自用意すること。(折らずに収納できるサイズを使用すること)
- (8) 出場最終日の退場時にADカードを退場受付に提出すること。大会終了後にADカードの提出を確認できない選手の記録は抹消する。
- (9) ADカードは参加団体の責任において規定に則り発行すること。

4 入退場について

- (1) 大会期間中は7時30分に開場しチームスタッフ、選手の順で入場する。
(注意) 必要以上に早く来場しないこと。
- (2) 入退場は、2階西口側とする。(別紙「会場図」を参照)
- (3) 入場の際にADカードチェックを行う。
- (4) 出場最終日の退場時にADカードを退場口の受付に提出すること。
- (5) 天候等の状況により開場時刻および入場方法を変更する場合がある。

5 選手の控え場所について(別紙「会場図」を参照)

- (1) 控え場所は観覧スタンドのみとする。指定区域外への立ち入りを禁止する。
- (2) 荷物やカード・紐などでの場所取り行為を禁止する。一定時間以上放置された荷物類は、忘れ物として撤去する。
- (3) メインプール更衣室は更衣のみとし、ロッカーの使用はできない。なお、荷物を放置しないこと。
- (4) サブプール更衣室は使用できない。

6 プールの使用について ※混雑状況によって変更する場合があるので、当日は係員の指示に従うこと

(1) メインプールA面

水深3m、水温28.0度に設定する。

- ① ウォーミングアップは、競技開始20分前までとする。
- ② ウォーミングアップ時の9レーンはスタート側からのダッシュレーンとする。ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。また、0レーンはペースレーンとする。(スイムのみ)
- ③ パドル・コード類の使用は禁止する。
- ④ 決勝前のウォーミングアップは、当日の指示に従うこと。
- ⑤ 練習中はホイッスルの使用を認める。

(2) メインプールB面

- ① 水深3m、水温28.0度に設定する。
- ② 練習用として常時使用できる。
- ③ 0レーンはダッシュレーンとする。ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。また、1レーンはペースレーンとする。(スイムのみ)
- ④ パドル・コード類の使用は禁止する。
- ⑤ 決勝前のウォーミングアップは、当日の指示に従うこと。
- ⑥ 競技中を除き、ホイッスルの使用を認める。

7 監督者会議について

監督者会議は行わない。

8 競技結果（速報）およびスタートリストについて

- (1) 会場で競技結果等の掲示は行わない。
- (2) 競技結果および決勝スタートリストはプログラム番号ごとに速やかにインターネットに公開する。

東京都水泳協会 HP ⇒ <https://tokyo-swim.org/>



9 YouTube の配信について

全競技 YouTube でオンデマンド配信する。

「かわずちゃんねる」 ⇒ <https://www.youtube.com/channel/UCKXDgeqAtqJwupKbIJStFKQ>



10 大会参加にあたっての同意事項について

- (1) 大会期間中に発生した事故・傷病・感染症は、自己または団体の責任において対処すること。
- (2) 悪天候・自然災害または感染症流行等により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場取消しとなった場合でも申込金は返金しない。
- (3) 公益財団法人日本水泳連盟および公益財団法人東京都水泳協会が定める規則等を遵守すること。

11 その他

- (1) 熱中症に注意すること。
 - ① こまめな水分補給を心掛けること。
 - ② ペットボトル、水筒などは専用のものを使用し、他者と共有しないこと。
- (2) 選手の保護者を含め、応援・観覧は西側スタンドのみとする。西側スタンドでの撮影は【撮影AD】を携帯している者のみとする。
- (3) プールサイドは室内履きに限り使用を認める。
- (4) レースやウォーミングアップ時に脱衣した衣服は袋やナップザック等に入れて管理すること。
- (5) 忘れ物は、リゾリューションデスクにて保管する。最終日競技終了後、破棄する場合がある。
- (6) 貴重品は各団体の責任において管理すること。
- (7) 事故、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。
- (8) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。
- (9) 駅、公園等での待ち合わせは、一般利用者の迷惑になることがあり、密にもなるので避けること。
- (10) 東京アクアティクスセンター前や近隣への路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。悪質な場合は、警察と連携し対応する。

12 大会実行委員会

公益財団法人東京都水泳協会 競技委員会 kyougi@tokyo-swim.org